

テーマ：聖書の教えている霊的リーダーとはどのような存在か

「福音を伝えようとする者が霊的に正しくない状態にあることは、その人自身にとっても、またその人の働きにとっても、最大の災いである。しかし兄弟たちよ、なんと容易に、そのような災いをもたらされることであろう。私たちは、それを注意深く防がなければならない。ある日、私は、パースからエジンバラまで、急行列車で旅をしたことがある。突然、列車が急停車して動かなくなった。その原因は、蒸気機関の一つについているほんの小さなねじが一つ折れたためであった。そして、再び出発した時、列車は、二つのピストンではなく、一つのピストンで、はうようにのろのろ進まなければならないようになった。たった一つの小さなねじがなくなったためである。もしそのねじさえ完全であれば、列車は全速力で走っていたであろう。しかし、その小さなねじのために、全体が狂ってしまったのである。同じように、他のすべての点で申し分のない人でも、小さな欠点のために働きの全体が妨げられたり、あるいは全く役に立たなくなってしまうことがある。…いいかげんな見かけ倒しの説教者にならないように注意していただきたい。」(チャールズ・スポルジョン)

○監督とその資格⑧：酒飲みでない(3a)

1. 定義

「古代世界ではぶどう酒は絶えず用いられていた。水の供給がうまく行かない場合、また水を得ることが危険でさえある場合には、当然ぶどう酒が飲料水のかわりに用いられた。」(ウィリアム・バークレー)

※1 コリント 11:20-21

「しかし、そういうわけで、あなたがたはいっしょに集まっても、それは主の晩餐を食べるためではありません。食事のとき、めいめい我先にと自分の食事を済ませるので、空腹な者もおれば、酔っている者もいるというしまつです。」

2. 危険性

1) お酒は人の _____ や _____ を鈍らせるもの

※ホセア 4:11

「ぶどう酒と新しいぶどう酒は思慮を失わせる。」

※箴言 20:1

「ぶどう酒は、あざける者。強い酒は、騒ぐ者。これに惑わされる者は、みな知恵がない。」

※イザヤ 5:11-12

「ああ。朝早くから強い酒を追い求め、夜をふかして、ぶどう酒をあおっている者たち。彼らの酒宴には、立琴と十弦の琴、タンバリンと笛とぶどう酒がある。彼らは、主のみわざを見向きもせず、御手のなされたことを見もしない。」

2) お酒は人を _____ にするもの

※箴言 23:29-35

「わざわいのある者はだれか。嘆く者はだれか。争いを好む者はだれか。不平を言う者はだれか。ゆえなく傷を受ける者はだれか。血走った目をしている者はだれか。ぶどう酒を飲みふける者、混ぜ合わせた酒の味見をしに行く者だ。ぶどう酒が赤く、杯の中で輝き、なめらかにこぼれるとき、それを見てはならない。あとでは、これが蛇のようにかみつぎ、まむしのように刺す。あなたの目は、異様な物を見、あなたの心は、ねじれごとをしゃべり、海の真ん中で寝ている人のように、帆柱のてっぺんで寝ている人のようになる。「私はなぐられたが、痛くなかった。私はたたかれたが、知らなかった。いつ、私はさめるだろうか。もっと飲みたいものだ。」」

「アルコールは脳ととても親しいのですが、連日の飲酒で始終アルコール漬けになっていると、脳の細胞は梅酒の中の梅の実のようにだんだん縮んでいきます。これを脳萎縮といいます。CTやMRI検査で調べてみると、脳萎縮は脳の前頭葉に多くみられます。前頭葉というのは、物事の判断や意志決定をするなど、最も高等な精神の中核ですから、そこに脳萎縮がおきると正しい判断ができにくくなります。アルコールを多く飲む生活習慣病の人は、その原因がアルコールにある事実をなかなか認めようとしません。これは前頭葉の萎縮により最適な判断ができにくくなっているためもあるでしょう。」(ネットからの引用)

3. 適応

※エペソ 5:17-18

「ですから、愚かにならないで、主のみこころは何であるかを、よく悟りなさい。また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。」

※ローマ 14:20-21

「食べ物のことで神のみわざを破壊してはいけません。すべての物はきよいのです。しかし、それを食べて人につまずきを与えるような人の場合は、悪いのです。肉を食べず、ぶどう酒を飲まず、そのほか兄弟のつまずきになることをしないのは良いことなのです。」

※ローマ 14:23

「しかし、疑いを感じる人が食べるなら、罪に定められます。なぜなら、それが信仰から出ていないからです。信仰から出ていないことは、みな罪です。」

○監督とその資格⑨：暴力をふるわず(3b)

1. 定義

「この言葉は論理的な言葉よりも己の拳を振るうことを好む、短気な人を描写している。」

※テトス 1:7

「監督は神の家の管理者として、非難されるところのない者であるべきです。わがままでなく、短気でなく、酒飲みでなく、けんか好きでなく、不正な利を求めず…」

※エゼキエル 34:1-4,10

「次のような主のことばが私にあった。「人の子よ。イスラエルの牧者たちに向かって預言せよ。預言して、彼ら、牧者たちに言え。神である主はこう仰せられる。ああ。自分を肥やしているイスラエルの牧者たち。牧者は羊を養わなければならないのではないか。あなたがたは脂肪を食べ、羊の毛を身にまとい、肥えた羊をほふるが、羊を養わない。弱った羊を強めず、病気のものをいやさず、傷ついたものを包まず、迷い出たものを連れ戻さず、失われたものを捜さず、かえって力づくで暴力で彼らを支配した。…神である主はこう仰せられる。わたしは牧者たちに立ち向かい、彼らの手からわたしの羊を取り返し、彼らに羊を飼うのをやめさせる。牧者たちは二度と自分自身を養えなくなる。わたしは彼らの口からわたしの羊を救い出し、彼らのえじきにさせない。」

※コロサイ 3:7-8

「あなたがたも、以前、そのようなものの中に生きていたときは、そのような歩み方をしていました。しかし今は、あなたがたも、すべてこれらのこと、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。」

2. 適応

※1 ペテロ 2:21-24

「あなたがたが召されたのは、実はそのためです。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残されました。キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」

○まとめ